

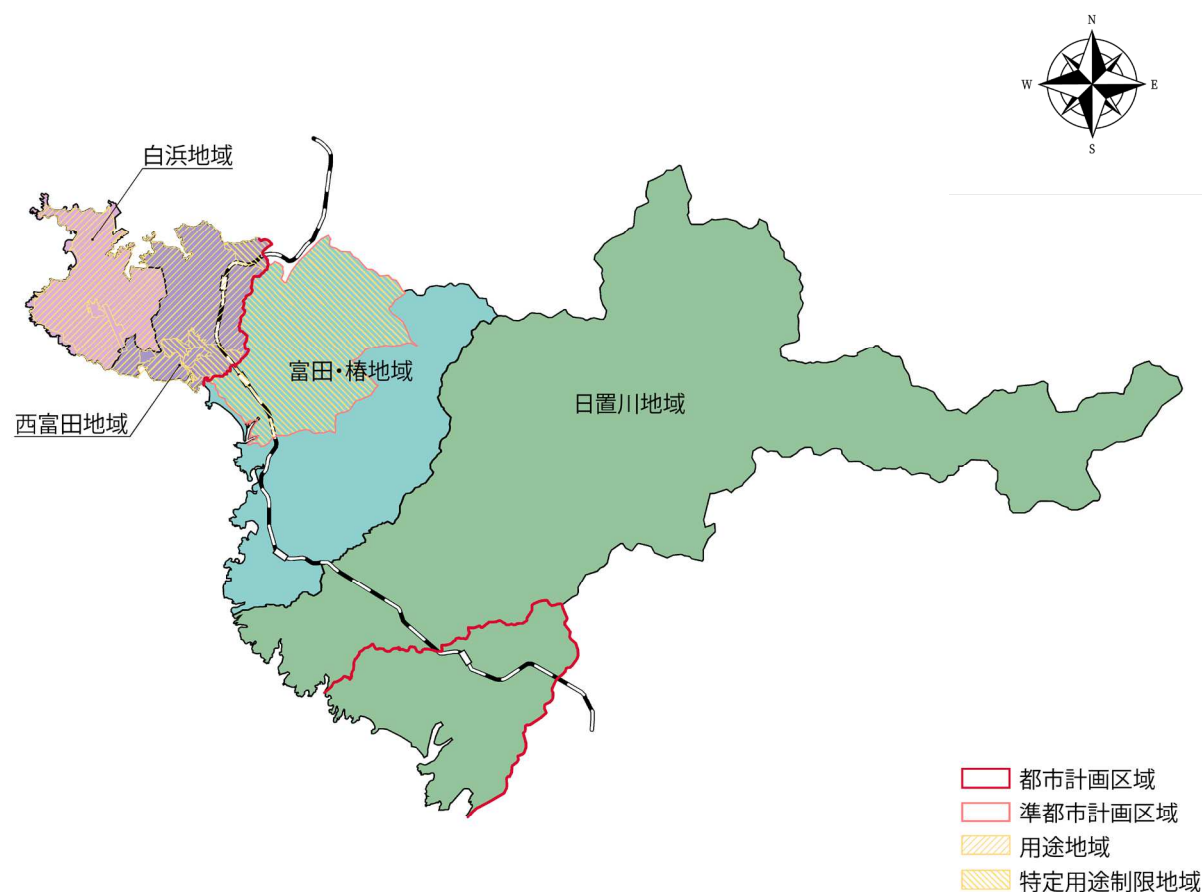


第4章 地域別構想

1 地域区分

地域別構想の地域区分については、地域としてのまとまりを考慮して、字界等を境界とした4地域を設定します。

■地域区分



<テーマ>

観光都市の中心地として、住民と観光客が白浜の魅力を実感できるまちづくり

良好な住環境を形成する生活サービス機能と、白良浜や千畳敷などの観光資源を有する観光機能、そして豊かな自然的環境の活用により、住民と観光客が白浜の魅力を実感できるまちづくりの実現に努めます。

さらに、サテライトオフィスを活用したワーケーションなどの新たな働き方に対応した企業誘致の促進や、にぎわい空間の形成などに努め、住民や事業者、行政が一体となることにより、役割を分担しながら、地域に誇りが持てるような官民連携のまちづくりを進めます。こうした取り組みを通して、中心市街地でのさらなる活性化を目指します。

(1) 土地利用に関する方針

現状及び課題	主な取り組み
○長引く不況の影響などから商店街の活気は衰退しており、今後も観光都市としてのにぎわいや活力をけん引し続けることができるように活性化が望まれています。また、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた訪日外国人旅行者への対応が必要です。	○浜通り、御幸通り、銀座通りを含む商業地については、白良浜や白浜温泉などの地域資源の活用、観光客のニーズへの的確な対応に留意しながら、商業地としての質の向上に努めます。また、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、訪日外国人旅行者を対象とした着地型観光に積極的に取り組みます。
○番所山は豊かな自然的環境や景観を有しています。これらの資源を活用した更なる整備や保全の取り組みが求められています。	○円月島、京都大学白浜水族館、グラスボート乗船場、南方熊楠記念館を含む番所山周辺については、自然・教育・レクリエーションの場として、恵まれた自然的環境を保全しながら既存施設の有効活用に努めます。
○千畳敷や三段壁周辺の海岸部は吉野熊野国立公園や風致地区、後背地は特別用途地区（娯楽レクリエーション地区）や地区計画が適用されており、今後も適切な土地利用誘導が望まれます。	○千畳敷や三段壁周辺について、海岸部は景勝地としての環境を保全し、後背地は宿泊施設など観光客をもてなす機能を持った施設の立地促進に努めます。 ○阪田公園周辺や古賀浦地区、平草原周辺、南紀白浜ICと市街地を結ぶ道路沿道などにおいても、今後の開発動向を見極めながら、必要に応じて土地利用誘導と誘導手法の適切な見直しを検討します。

現状及び課題	主な取り組み
○土地の有効活用の観点などから、地域の将来像や周辺環境への影響を見据えた的確な対応が必要です。	○美ノ浦・綱周辺や天狗谷周辺、南紀白浜空港周辺、旧空港跡地などについては、将来的な土地利用を見据えながら、用途地域の見直しを検討します。
○南紀白浜空港周辺や旧空港跡地の未利用地については、現在、町と県で所有しており、暫定利用を含め有効活用が望まれています。	○南紀白浜空港周辺や旧空港跡地の未利用地については、観光都市としての機能強化のため、有効活用について検討します。
○土地の有効活用の観点などから、用途地域などの見直しの地元要望があり、地域の将来像や周辺環境への影響を見据えた的確な対応が必要です。	○現状の土地利用と用途地域の制限内容が整合していない地域、土地利用を促進すべき地域などについては、将来的な土地利用を見据えながら、用途地域等の見直しを検討します。
○現在、町の基幹産業である観光の振興のために、特別用途地区（娯楽レクリエーション地区）や高度地区などを指定しています。	○今後も、町の基幹産業である観光の振興のために、都市計画をはじめとした土地利用の規制・誘導手法の適用により、適切な土地利用を促します。
○ワーケーション等の新たな働き方に対応した企業誘致拠点の整備が求められています。	○県道白浜温泉線沿道や南紀白浜空港周辺、古賀浦周辺等において、既存の環境維持・形成に努めながら、サテライトオフィスをはじめとする事務所の誘致等に努めます。

（２）道路・交通の方針

現状及び課題	主な取り組み
○既存の幹線道路は、観光施設へのアクセス道路としての機能も有するため、住民のほか観光客に配慮した道路機能の充実が必要です。また、周辺市町とのネットワーク形成のための整備も必要です。	○既存の幹線道路については、車の利便性や歩行者の安全性の向上とともに景観にも配慮しながら、幹線道路としての機能向上のために必要な維持・改良に努めます。西牟婁圏域をひとつの圏域としたネットワーク形成のための道路整備を推進します。
○未整備都市計画道路があり、将来都市構造の実現に向けた取り組みが必要です。	○未整備都市計画道路については、機能的な道路網の早期確立を推進します。
○旧来からの商業地や住宅地内では、屈曲した幅員の狭い道路が多く、通過交通が流入している道路もあります。	○商業地内での回遊性、住宅地内での安全性の向上のために、幹線道路網の明確化による商業地や住宅地内への通過交通の抑制、幹線道路をはじめとした歩道空間の充実に努めます。

現状及び課題	主な取り組み
○本地域では、夏期をはじめ駐車場が不足しており、本地域の観光振興のために的確な対応が望まれます。	○夏期臨時駐車場の開設、案内サインによる観光のための自動車交通の適切な誘導などに努めます。 ○ＩＣＴの活用による渋滞緩和や駐車場案内システムを用いた駐車場案内などに努めます。
○県内唯一の空港であり首都圏とを結ぶ南紀白浜空港は、白浜町及び和歌山県の空の玄関口となっています。	○町内外の地域経済や観光の振興のために、首都圏とを結ぶ路線の増便や新規路線の確立によって空路の強化を促します。
○路線バスは、住民や観光客の地域内移動を支える公共交通であり、特に高齢者等の交通弱者にとって重要な交通手段であるため、路線バスの維持・充実が望まれます。	○町内の路線バスを維持するため、財政支援を行うなど地域の実情に応じた対策を講じることにより努めます。 ○バリアフリーに配慮した車両の導入等により、人に優しい交通環境づくりや近隣市町と連携し広域的なネットワークづくりを促進します。

(3) 公園・緑地の方針

現状及び課題	主な取り組み
○円月島、三段壁、千畳敷をはじめとする海岸部については、吉野熊野国立公園や南紀熊野ジオパークに指定されています。	○ジオパークのジオサイトに指定されている円月島、三段壁、千畳敷をはじめとする海岸部については、和歌山の貴重な自然として、引き続き、その保護と観光客の誘致に向けた適正な活用に努めます。
○本地域内にある都市計画公園等のうち、10箇所を開設していますが、施設の老朽化、住民のニーズの多様化を踏まえた、計画的な管理・更新が必要です。	○坂本公園など開設している都市計画公園については、バリアフリーやユニバーサルデザイン、住民の健康増進などに配慮した施設の再整備に努めるとともに、予防保全及び事後保全による効果的、効率的な維持管理を進めます。
○都市計画公園の中には、都市計画決定当初の公園の役割や機能を有していないものもあります。	○その他の都市計画公園についても、地域の現状や果たすべき役割などを踏まえ、必要に応じて都市計画決定の変更などの検討を行います。
○本地域内には都市計画公園がありますが、地区によっては、身近な広場が不足しています。	○道路整備などの市街地整備に併せて、高齢者の身近な憩いの場や子どもの身近な遊び場となる広場やポケットパークの創出に努めます。

（４）河川・下水道、その他都市施設の方針

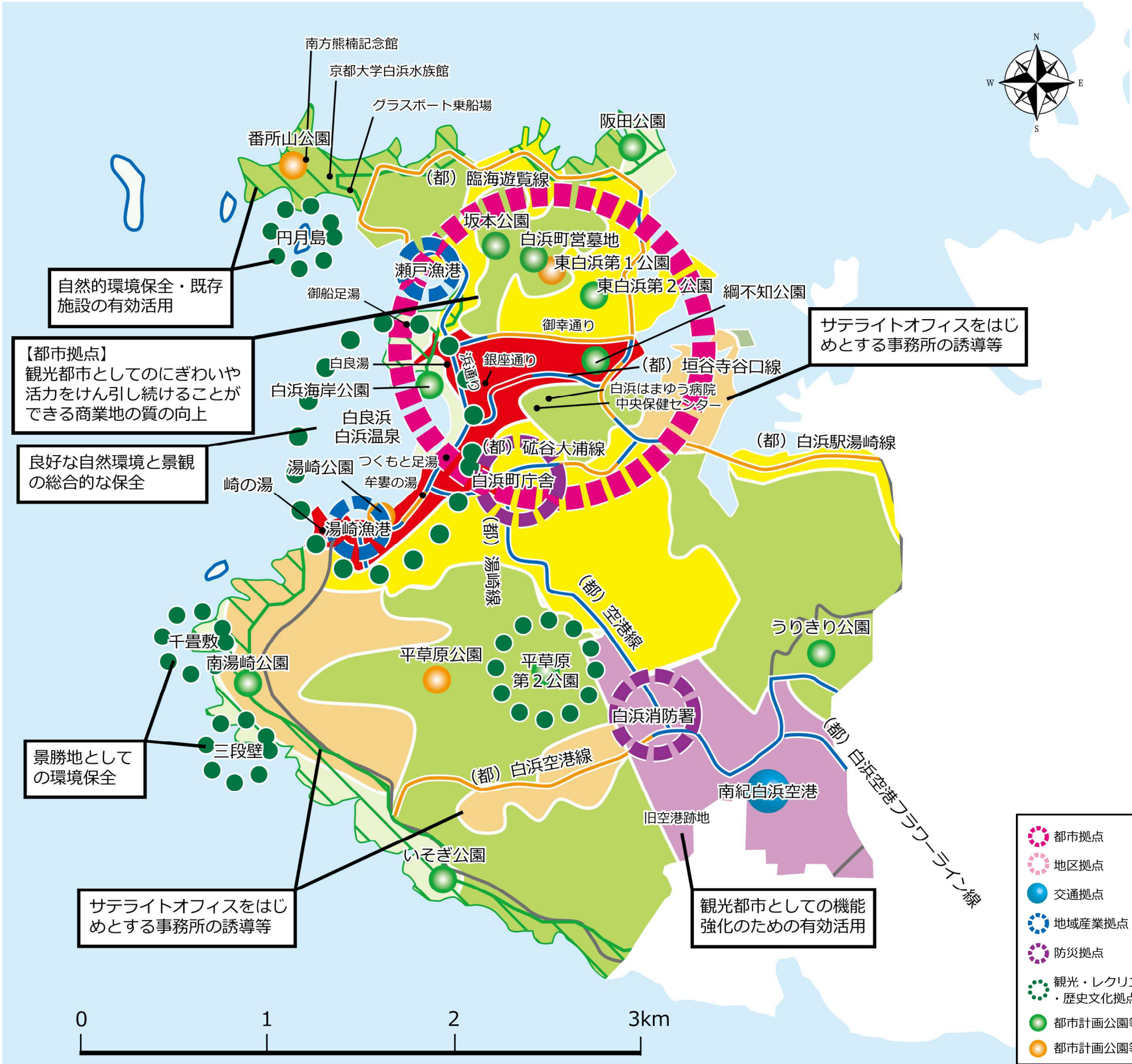
現状及び課題	主な取り組み
○公共下水道については、白良浜を中心とした海の水質保全、観光都市としての環境整備のためにも、公共下水道の整備充実是不可欠です。	○供用開始区域内での利用促進を図るため、下水道への未接続の事業所や世帯に対し、早期接続の必要性や助成制度などの情報提供を行うなど、接続率の向上に努めます。 ○終末処理場については、適切な管理運営を行うとともに、改築や修繕などに努めます。また、供用開始区域内の未整備区域の計画的な公共下水道の整備にも努めます。
○本地域には、中央保健センターや白浜はまゆう病院などの施設があります。今後の少子高齢化を見据えながら、町内の既存施設を利用した保健・医療・福祉機能の強化が望まれます。	○本地域内の施設の適切な維持・充実を図るとともに、中央保健センターや白浜はまゆう病院、社会福祉協議会などについては、町内の保健・医療・福祉に関する拠点的な機能を有するよう連携を図ります。また町内外の医療機関や健康福祉関係機関などとの連携強化による地域医療体制及び救急医療体制の充実に努めます。
○白浜町営墓地については、返納墓地が増加している状況を踏まえ、需要と供給の均衡がとれた計画的な管理運営が望まれます。	○返納墓地の増加に伴い、現施設のコンパクト化に努めます。

（５）その他のまちづくり方針

現状及び課題	主な取り組み
○商業地及びその周辺においては、中心拠点としての活力の向上のため適切な取り組みが望まれます。	○観光都市としてのにぎわいの中心地である商業地及びその周辺においては、ハード及びソフト両面からの総合的な市街地の再整備や屋外広告物の統一化や無電柱化による景観形成、更には自然景観の保全に努めます。
○本地域内には、牟婁の湯、白良湯などの公衆浴場、つくもと足湯、御船足湯などの足湯があり、このような地域資源の保全と活用が必要です。	○既存の公衆浴場、足湯を活用しながら、今後も日本三古湯の１つである「白浜温泉」の保全と活用を推進します。
○道路幅員が狭く老朽木造建築物が多く立地しているなど防災性の向上が必要な市街地があります。一方で路地裏としての情緒が残る箇所もあります。	○防災性の向上を図るため、建築物の耐震化を促進するとともに、狭あい道路の拡幅整備を促進するなど住環境整備に努めます。

現状及び課題	主な取り組み
○今後発生が予想される南海トラフ地震等を見据えた災害に強いまちづくりが望まれます。	○各種災害の潜在的な危険性への対応力の向上のため、消防装備の刷新や消防車両整備計画に基づいた消防車両や消防資機材の整備に努めます。 ○津波避難施設や避難場所等の整備・充実に努め、耐震型防火水槽については5か年計画等で整備計画を立て、整備地の要件を満たした箇所から整備を進めます。 ○津波による浸水が想定されている地区では、津波避難計画に基づき、津波から安全に避難できる体制を推進します。

■地域別構想図【白浜地域】



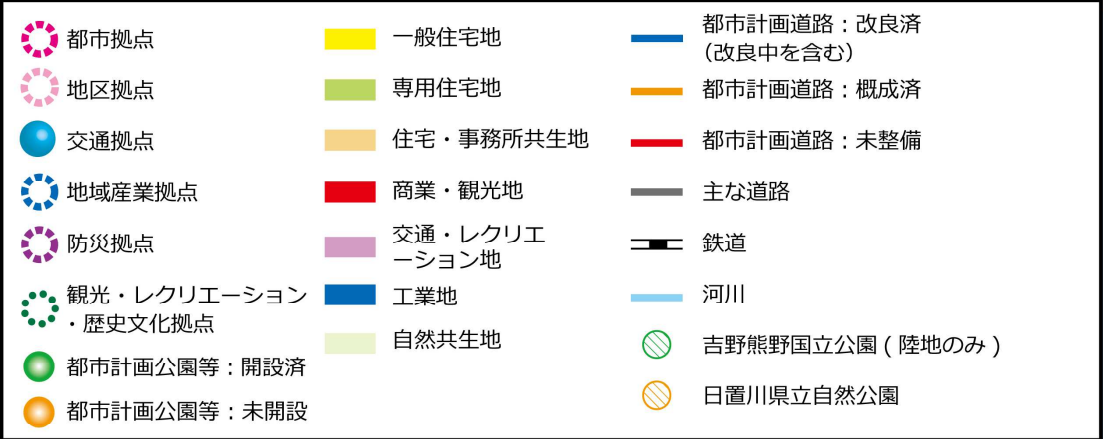
円月島



三段壁



白良浜



<テーマ>

居住機能や観光機能が充実した暮らしやすさと活力があるまちづくり

安全性と利便性を備えた定住環境として、南海トラフ地震への対策も含めた都市基盤の整備・改善など、周辺の山林や農地等の自然環境に配慮しつつ、生活環境の充実に努めます。また、白浜町の玄関口となるＪＲ白浜駅やテーマパークなどといった大規模集客施設があり、今後も観光機能としての強化に努めます。こうした取り組みを通して、災害に強く暮らしやすさと活力があるまちづくりを目指します。

(１) 土地利用に関する方針

現状及び課題	主な取り組み
○長引く不況の影響などからＪＲ白浜駅周辺は衰退しており、今後も観光都市としてのにぎわいや活力をけん引し続けることができるように活性化が望まれています。	○ＪＲ白浜駅を含む商業地については、地域の日常的な商業サービス機能を中心としつつも、観光都市白浜の玄関口としての機能を併せ持つことに留意しながら、商業地としての質の向上に努めます。
○堅田漁港周辺の集客施設は、観光客が訪れやすい幹線道路沿道に立地しています。	○地域資源（漁業）と観光との連携を図るなど、活力とにぎわいに満ちた商業地として立地環境の充実に努めます。
○テーマパークをはじめとした大規模な集客施設が立地しています。	○白浜町の観光産業をけん引するレクリエーション地として、立地環境の充実に努めます。
○大規模な住宅開発地が点在しています。	○住宅地内での良好な住環境の維持・形成に努めます。
○土地の有効活用の観点などから、地域の将来像や周辺環境への影響を見据えた的確な対応が必要です。	○南紀白浜空港周辺や畑崎周辺については、将来的な土地利用を見据えながら、用途地域の見直しを検討します。
○町の基幹産業である観光の振興のために、特別用途地区（娯楽レクリエーション地区）を指定しています。	○今後も、町の基幹産業である観光の振興のために、都市計画をはじめとした土地利用の規制・誘導手法の適用により、適切な土地利用を促します。
○南紀白浜空港周辺や旧空港跡地の未利用地については、現在、町と県で所有しており、暫定利用を含め有効活用が望まれています。	○南紀白浜空港周辺や旧空港跡地の未利用地については、観光都市としての機能強化のため、有効活用について検討します。

現状及び課題	主な取り組み
○テーマパーク周辺の南東部に位置する才野地区では、農地などが広がっています。	○まとまった優良農地やほ場整備などの基盤整備を実施した農地、営農意欲の高い農地では、農業生産環境の保全及び農業の振興を図ります。

（２）道路・交通の方針

現状及び課題	主な取り組み
○未整備都市計画道路があり、将来都市構造の実現に向けた取り組みが必要です。	○未整備都市計画道路については、機能的な道路網の早期確立を推進します。
○既存の幹線道路は、観光施設へのアクセス道路としての機能も有するため、住民のほか観光客にも配慮した道路機能の充実が必要です。	○既存の幹線道路については、車の利便性や歩行者の安全性の向上とともに景観にも配慮しながら、幹線道路としての機能向上のために必要な維持・改良に努めます。
○旧来からの住宅地内では、屈曲した幅員の狭い道路が多く、通過交通が流入している道路もあります。	○住宅地内での安全性の向上のために、幹線道路網の明確化による住宅地内への通過交通の抑制、幹線道路をはじめとした歩道空間の充実に努めます。
○路線バスは、住民や観光客の地域内移動を支える公共交通であり、特に高齢者等の交通弱者にとって重要な交通手段であるため、路線バスの維持・充実が望まれます。	○町内の路線バスを維持するため、財政支援を行うなど地域の実情に応じた対策を講じることにより努めます。 ○バリアフリーに配慮した車両の導入等により、人に優しい交通環境づくりや近隣市町と連携し広域的なネットワークづくりを促進します。

（３）公園・緑地の方針

現状及び課題	主な取り組み
○本地域の海岸部については、吉野熊野国立公園や南紀熊野ジオパークに指定されています。	○五色ヶ浜をはじめとする海岸部については、ジオサイト「シガラミ磯」もあることから、和歌山の貴重な自然として清掃・美化活動の推進・啓発を行い、今後もその保護と適正な利用に努めます。
○本地域内には都市計画公園がありません。人口や世帯数の増加を踏まえた、計画的な公園整備が必要です。	○ＪＲ白浜駅周辺をはじめ、地域の現状や果たすべき役割などを踏まえ、必要に応じて都市計画公園の整備の検討を行います。 ○道路整備などの市街地整備に併せて、高齢者の身近な憩いの場や子どもの身近な遊び場となる広場やポケットパークの創出に努めます。

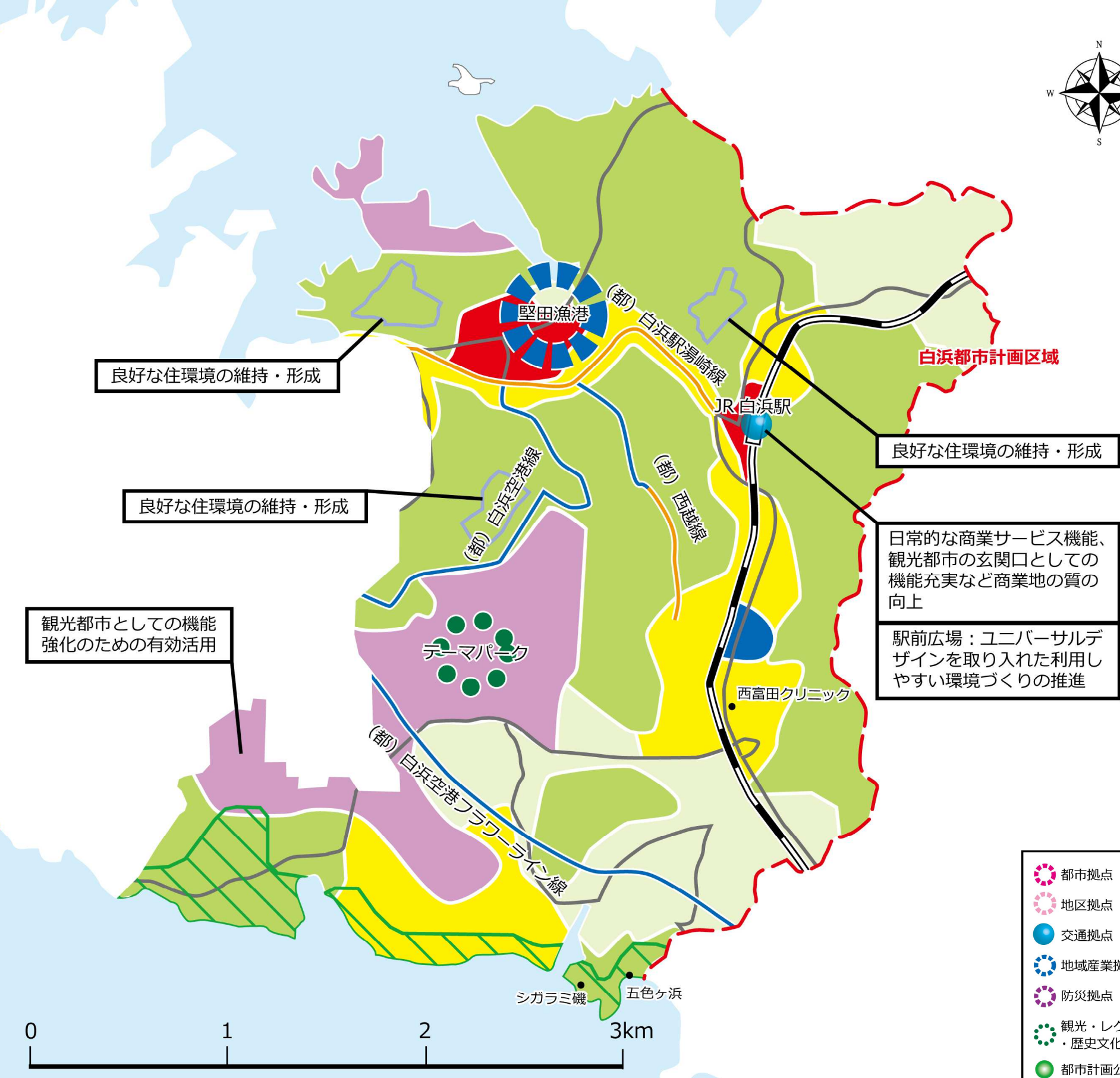
（４）河川・下水道、その他都市施設の方針

現状及び課題	主な取り組み
○本地域には、西富田クリニックなどの施設があります。今後の少子高齢化を見据えながら、町内の既存施設を利用した保健・医療・福祉機能の強化が望まれます。	○本地域内の施設の適切な維持・充実を図るとともに、町内の保健・医療・福祉に関する拠点的な機能を有する中央保健センターや白浜はまゆう病院、社会福祉協議会などとの連携を図ります。また、町内外の医療機関や健康福祉関係機関などとの連携強化による地域医療体制及び救急医療体制の充実に努めます。

（５）その他のまちづくり方針

現状及び課題	主な取り組み
○ＪＲ白浜駅前では、鉄道やバスの乗り換え時間等に対応する空間や施設が少なく観光客が滞留しにくくなっています。	○ＪＲ白浜駅前の景観の保全や形成のため、地元商店街を中心に県、町、交通機関が一体となり問題点や将来イメージを踏まえた取り組みを進めます。 ○ＪＲ白浜駅の駅前広場において、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが使いやすく、快適に利用できる環境づくりを進めます。
○道路幅員が狭く老朽木造建築物が多く立地しているなど防災性の向上が必要な市街地があります。	○防災性の向上を図るため、建築物の耐震化を促進するとともに、狭あい道路の拡幅整備を促進するなど住環境整備に努めます。
○今後発生が予想される南海トラフ地震等を見据えた災害に強いまちづくりが望まれます。	○各種災害の潜在的な危険性への対応力の向上のため、消防装備の刷新や消防車両整備計画に基づいた消防車両や消防資機材の整備に努めます。 ○津波避難施設や避難場所等の整備・充実に努め、耐震型防火水槽については５か年計画等で整備計画を立て、整備地の要件を満たした箇所から整備を進めます。 ○津波による浸水が想定されている地区では、津波避難計画に基づき、津波から安全に避難できる体制を推進します。

■地域別構想図【西富田地域】



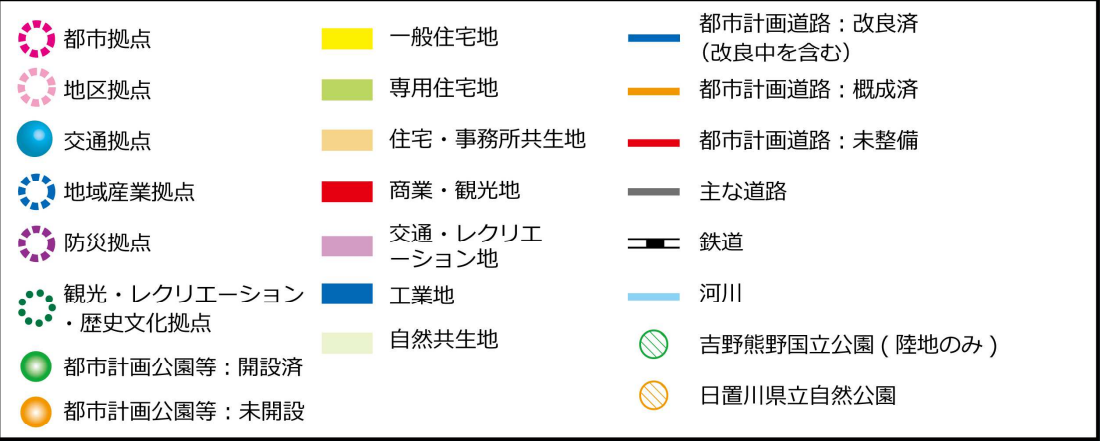
J R 白浜駅



五色ヶ浜



幹線道路沿道（集客施設）



<テーマ>

豊かな地域資源を活かした都市と自然が調和したまちづくり

熊野参詣道大辺路の富田坂、椿温泉、富田川など本地域固有の豊かな地域資源については、次世代に受け継いでいけるよう、清掃・美化活動などにより大切に保全するとともに、地域振興のために適切に活用することに努めます。また、豊かな地域資源を活かし、都市と自然が調和したまちづくりを目指します。

(1) 土地利用に関する方針

現状及び課題	主な取り組み
○交通利便性の高い南紀白浜ＩＣが位置する富田地区については、白浜の新たな都市の一翼を担う地区としての的確な取り組みが必要です。	○南紀白浜ＩＣやアクセス道路周辺については、平成２７年度に準都市計画区域の指定、特定用途制限地域の指定を行いました。今後も、必要に応じて都市計画区域への編入や用途地域の指定など適用を検討します。
○椿温泉がある椿地区については、今後も、市街地から離れた郊外部での生活の中心地とともに観光地としての役割を果たすことが必要です。	○今後も、日常生活圏の中心地として、また災害時における情報発信及びその備えが必要な地区として、その機能充実に努めます。 ○湯治場としての歴史や伝統を踏まえ、観光客の受け入れ環境の充実に努めます。
○富田川の沿川には、農地などの平地が広がっています。	○まとまった優良農地やほ場整備などの基盤整備を実施した農地、営農意欲の高い農地では、農業生産環境の保全及び農業の振興を図ります。

（２）道路・交通の方針

現状及び課題	主な取り組み
○旧来からの住宅地内では、屈曲した幅員の狭い道路が多く、通過交通が流入している道路もあります。	○住宅地内での安全性の向上のために、幹線道路網の明確化による住宅地内への通過交通の抑制、幹線道路をはじめとした歩道空間の充実に努めます。また、狭あい道路の解消など生活道路の整備を図ります。
○路線バスは、住民や観光客の地域内移動を支える公共交通であり、特に高齢者等の交通弱者にとって重要な交通手段であるため、路線バスの維持・充実が望まれます。	○町内の路線バスを維持するため、財政支援を行うなど地域の実情に応じた対策を講じること に努めます。 ○バリアフリーに配慮した車両の導入等により、人に優しい交通環境や近隣市町と連携し広域的なネットワークづくりを促進します。

（３）公園・緑地の方針

現状及び課題	主な取り組み
○本地域の海岸部については、吉野熊野国立公園や南紀熊野ジオパークに指定されています。	○見草崎、椿海岸をはじめとする海岸部については、ジオサイトもあることから、和歌山の貴重な自然として清掃・美化活動の推進・啓発を行い、今後もその保護と適正な利用に努めます。
○地区によっては、身近な広場が不足しています。	○道路整備などの市街地整備に併せて、高齢者の身近な憩いの場や子どもの身近な遊び場となる広場やポケットパークの創出に努めます。

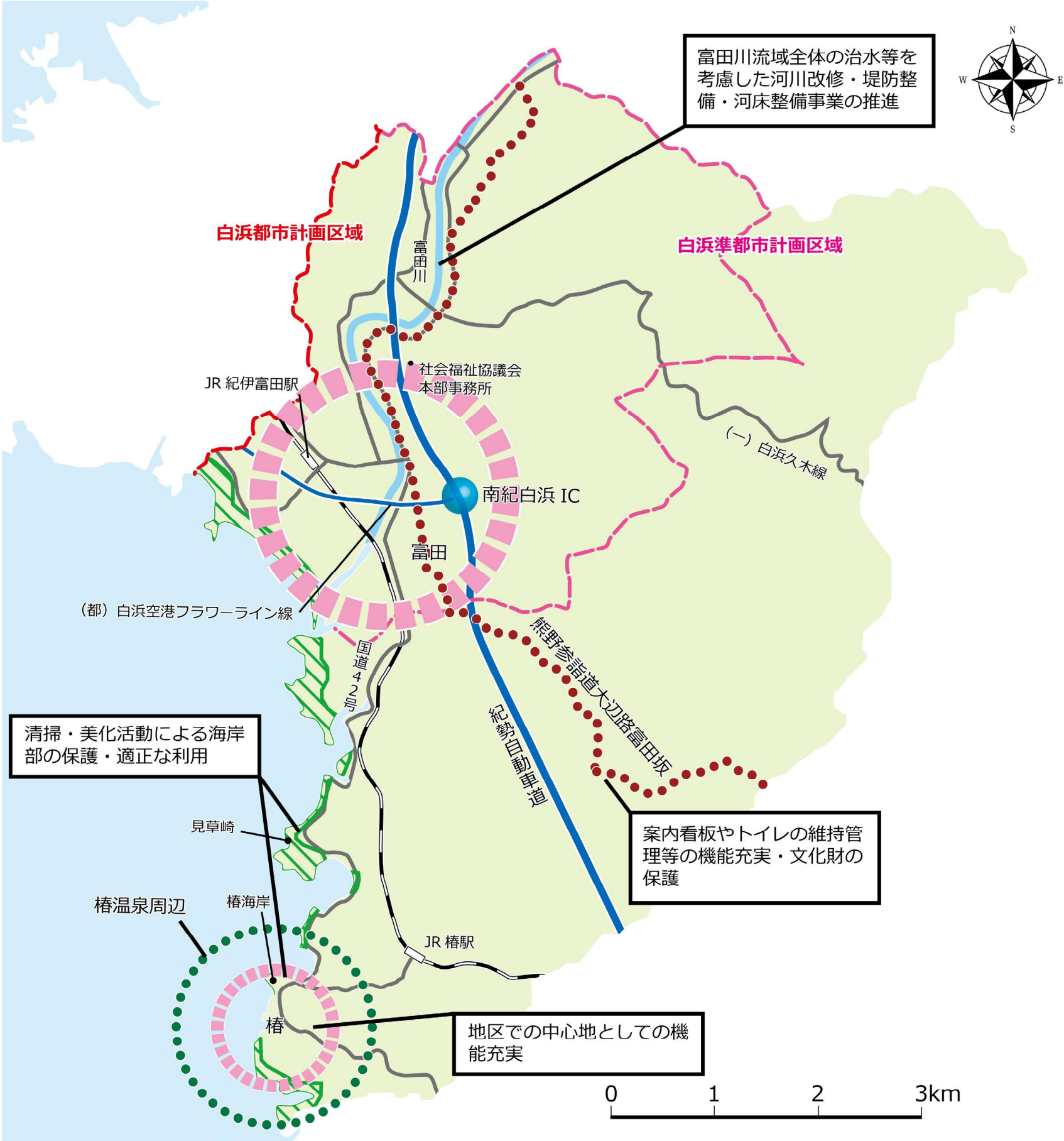
(4) 河川・下水道、その他都市施設の方針

現状及び課題	主な取り組み
○富田川の沿川には、農地などの平地が広がっています。	○流域全体の治水・利水・環境を考慮して、国・県と連携した河川改修、堤防整備及び河床整備事業の推進を図ります。
○本地域には、ごみ処理施設やし尿処理施設が立地しています。	○資源の循環や省エネルギーなど環境との共生、並びに周辺環境との調和に着目して、施設の適切な管理・運営とともに機能強化に努めます。
○本地域には、社会福祉協議会本部事務所などの施設があります。今後の少子高齢化を見据えながら、町内の既存施設を利用した保健・医療・福祉機能の強化が望まれます。	○本地域内の施設の適切な維持・充実に努めるとともに、町内の保健・医療に関する拠点的な機能を有する中央保健センターや白浜はまゆう病院などとの連携を図ります。また町内外の医療機関や健康福祉関係機関などとの連携強化による地域医療体制及び救急医療体制の充実に努めます。

(5) その他のまちづくり方針

現状及び課題	主な取り組み
○世界遺産登録された熊野参詣道大辺路の富田坂があり、その保全とともに適切な活用が望まれます。	○富田坂については、観光客の増加を目指し、案内看板やトイレの維持管理などの機能充実や文化財の保護、情報周知に努めます。
○富田川の一部が重要水防箇所指定されており、洪水が想定されます。	○国・県と連携した河川改修事業や海岸保全事業等の推進を図り、適切な河川・海岸防災対策に努めます。
○今後発生が予想される南海トラフ地震等を見据えた災害に強いまちづくりが望まれます。	○各種災害の潜在的な危険性への対応力の向上のため、消防装備の刷新や消防車両整備計画に基づいた消防車両や消防資機材の計画的な整備に努めます。 ○津波避難施設や避難場所等の整備・充実に努め、耐震型防火水槽については5か年計画等で整備計画を立て、整備地の要件を満たした箇所から整備を進めます。 ○津波による浸水が想定されている地区では、津波避難計画に基づき、津波から安全に避難できる体制を推進します。

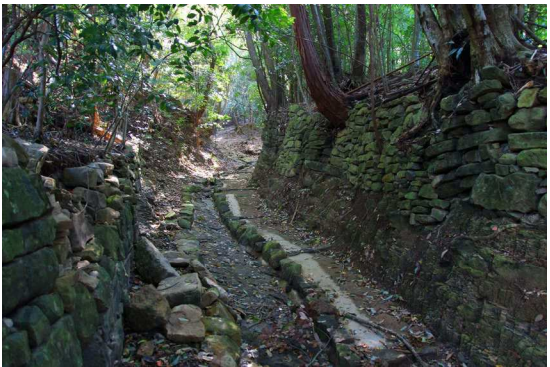
■地域別構想図【富田・椿地域】



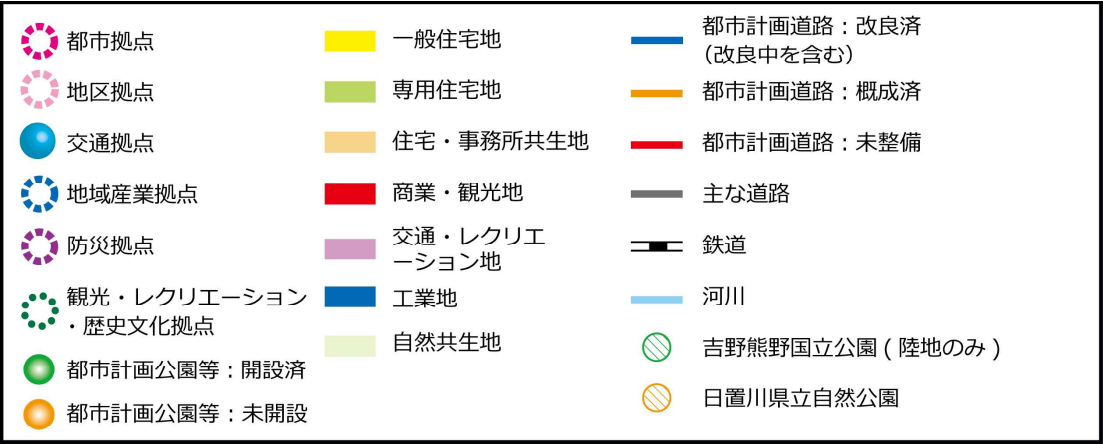
J R 紀伊富田駅



椿はなの湯



熊野古道



<テーマ>

清流日置川とともに生きる、ふれあい豊かな笑顔があふれるまちづくり

清流日置川をはじめとしたかけがえない豊かな自然や、熊野参詣道大辺路の富田坂・仏坂、安宅氏城館跡といった文化財を大切に保全しつつ、優れた自然景観や自然環境・文化財を活かした地域振興に努めます。また、体験型の観光による地域産業の振興を図るとともに、日置川事務所周辺の都市機能の充実に努め、観光客と住民、住民同士の交流機能を高める取り組みに努めます。こうした取り組みを通じて、清流日置川とともに生きる、ふれあい豊かな笑顔があふれるまちづくりを目指します。

(1) 土地利用に関する方針

現状及び課題	主な取り組み
○日置川事務所や日置川拠点公民館、日置港などの整備による利便性の向上を活かした都市機能の充実が必要です。	○地域としての持続可能性を見据え、多種・多様な交流機能の充実を図るなど、都市活動を支える中心拠点としての魅力向上に努めます。
○国道42号沿道には、志原海岸、白浜町テニスコート（日置川）など観光・レクリエーション機能が集積している箇所があります。	○地域の魅力の向上のために、観光・レクリエーション機能とともに沿道サービス機能の充実に努めます。
○日置川IC周辺の適切な土地利用の誘導が必要です。	○日置川IC周辺については、地場産業の活性化及び新たな産業誘致に努めます。
○日置川事務所周辺の中心地や、日置川沿いの三舞、川添地区については、今後も生活の中心地としての役割を果たすことが望まれています。	○日常生活圏の中心地として、また災害時における情報発信及びその備えが必要な地区として、その機能充実に努めます。
○日置川IC周辺は交通利便性が高く、地域での開発ポテンシャルが向上すると考えられます。	○本地域において、農林漁業との調和に配慮しながら、都市計画区域の見直しや準都市計画区域、特定用途制限地域の指定を検討します。
○日置川の沿川には、農地などの平地が広がっています。	○まとまった優良農地やほ場整備などの基盤整備を実施した農地、営農意欲の高い農地では、農業生産環境の保全及び農業の振興を図ります。

（２）道路・交通の方針

現状及び課題	主な取り組み
○旧来からの住宅地内では、屈曲した幅員の狭い道路が多くあります。	○狭あい道路の解消など生活道路の整備を図ります。
○路線バス等は、住民や観光客の地域内移動を支える公共交通であり、特に高齢者等の交通弱者にとって重要な交通手段であるため、路線バス等の維持・充実が望まれます。	○町内の路線バス等を維持するため、財政支援を行うなど地域の実情に応じた対策を講じること努めます。 ○バリアフリーに配慮した車両の導入等により、人に優しい交通環境や近隣市町と連携し広域的なネットワークづくりを促進します。
○本地域では、地域の公共交通であるコミュニティバスが運行しています。	○今後も地域の実情に応じた運行の態様や運賃・料金、事業計画を必要に応じて検討します。

（３）公園・緑地の方針

現状及び課題	主な取り組み
○本地域の海岸部については吉野熊野国立公園や南紀熊野ジオパーク、日置川及びその沿岸部については日置川県立自然公園に指定されています。	○ジオサイトである志原海岸をはじめとする海岸部、日置川については、和歌山の貴重な自然として清掃・美化活動の推進・啓発を行い、今後もその保護と適正な利用に努めます。
○地区によっては、身近な広場が不足しています。	○道路整備などの市街地整備に併せて、高齢者の身近な憩いの場や子どもの身近な遊び場となる広場やポケットパークの創出に努めます。

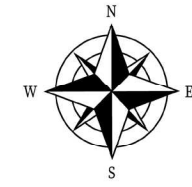
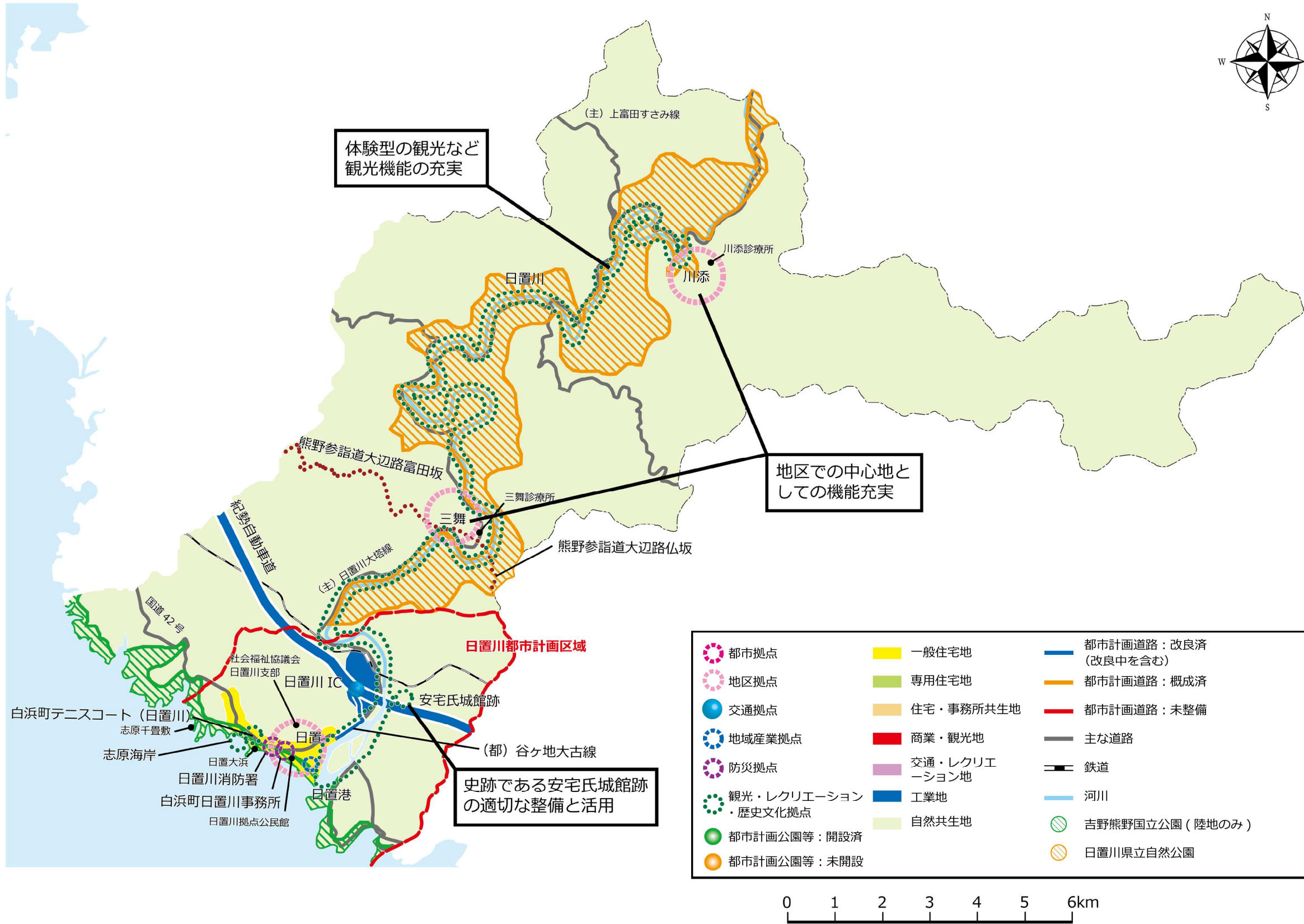
（４）河川・下水道、その他都市施設の方針

現状及び課題	主な取り組み
○日置川の沿川には、農地などの平地が広がっています。	○流域全体の治水・利水・環境を考慮して、国・県と連携した河川改修、堤防整備及び河床整備事業の推進を図ります。
○本地域には、社会福祉協議会日置川支部、日置診療所、三舞診療所、川添診療所などの施設があります。今後の少子高齢化を見据えながら、町内の既存施設を利用した保健・医療・福祉機能の強化が望まれます。	○本地域内の施設の適切な維持・充実を図るとともに、町内の保健・医療に関する拠点的な機能を有する中央保健センターや白浜はまゆう病院などとの連携を図ります。また町内外の医療機関や健康福祉関係機関などとの連携強化による地域医療体制及び救急医療体制の充実に努めます。

(5) その他のまちづくり方針

現状及び課題	主な取り組み
○世界遺産登録された熊野参詣道大辺路の富田坂や仏坂があり、その保全とともに適切な活用が望まれます。	○仏坂（安居の渡し等）については、観光客の増加を目指し、機能充実や文化財の保護、情報周知に努めます。
○本地域では、豊かな自然を活かし、キャンプ場、漁業・農林業体験など様々な体験型の観光を行っています。	○既存の観光機能の充実、観光ルートの構築など、体験交流に着目した取り組みに努めます。
○安宅氏城館跡や安宅坂の周辺には、中世に熊野水軍として活躍した安宅氏の歴史文化資源があります。	○令和2年3月に「安宅氏城館跡」が国史跡に指定されましたが、残りの城館跡についても国史跡指定に向けた取り組みを推進します。 ○史跡である安宅氏城館跡の適切な整備を実施し、地域における歴史文化拠点として活用を図ります。
○日置川の一部が重要水防箇所指定されており、洪水が想定されます。	○国・県と連携した河川改修事業や海岸保全事業等の推進を図るとともに、重要水防箇所の巡視・点検を行うなど適切な河川・海岸防災対策に努めます。
○今後発生が予想される南海トラフ地震等を見据えた災害に強いまちづくりが望まれます。	○各種災害の潜在的な危険性への対応力の向上のため、消防装備の刷新や消防車両整備計画に基づいた消防車両や消防資機材の計画的な整備に努めます。 ○津波避難施設や避難場所等の整備・充実に努め、耐震型防火水槽については5か年計画等で整備計画を立て、整備地の要件を満たした箇所から整備を進めます。 ○津波による浸水が想定されている地区では、津波避難計画に基づき、津波から安全に避難できる体制を推進します。

■地域別構想図【日置川地域】



日置川



志原海岸



白浜町テニスコート（日置川）



安宅氏城館跡全域

